

1 「企画委員会」実施状況

ボランティアコーディネーターコース 企画委員会 (※平成15年度は、任意の企画委員会として実施)

平成15年度

日 時：平成15年11月10日（月）15:00～17:40

内 容：災害ボランティアコーディネーター研修のカリキュラム等について

参加者：渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科 助教授

（特活）日本災害救援ボランティアネットワーク 理事

村井 雅清 被災地NGO協働センター 代表

黒田 裕子 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 副代表

田中 稔昭 （特活）日本災害救援ボランティアネットワーク 理事長

谷 昭美 （特活）日本災害救援ボランティアネットワーク

栗田 暢之 （特活）レスキューストックヤード 常務理事兼事務局長

山口 一史 （特活）ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事

菅 磨志保 人と防災未来センター 専任研究員

村田 昌彦 人と防災未来センター 事業課長

東井 裕介 人と防災未来センター

日 時：平成16年1月21日（月）17:00～18:00（研修最終日ののち）

内 容：反省会（平成15年度ボランティアコーディネーターコースについて）

「民間の災害救援活動者に対する人材育成プログラムに関する研究委員会」 (※平成16年度から、任意の企画委員会を、標記の研究委員会として組織)

平成16年度

日 時：平成16年5月28日（金）10:00～12:00

内 容：平成15年度のコースを振り返って

平成16年度のコースの企画に向けて

参加者：山口一史（委員長）、渥美公秀、黒田裕子、栗田暢之、村井雅清、山添令子（以上委員）、菅磨志保、窪田雅夫、村田昌彦、東井裕介（以上事務局）、（特活）日本災害救援ボランティアネットワーク 田中稔昭、高野尚子、谷 （以上陪席者）

日 時：平成16年7月6日（火）10:00～12:00

内 容：第1回企画委員会から現在までの経緯について

基礎資料の作成について、企画委員の補充について

コースのカリキュラム、開催日程、受講者募集広報

参加者：山口 一史（委員長）、黒田 裕子、栗田 暢之、村井 雅清、山添 令子（以上委員）、菅磨 志保、村田 昌彦、東井 裕介（以上事務局）、（特活）日本災害救援ボランティアネットワーク 田中 稔昭、高野 尚子、被災地NGO協働センター 福田 和昭（以上陪席者）

日 時：平成16年 8 月25日（水）16:00～17:00（研修最終日ののち）

内 容：反省会（平成16年度ボランティアコーディネーターコースについて）

平成17年度

日 時：平成17年 5 月18日（水）15:00～17:00

内 容：平成15年度のコースを振り返って

平成16年度のコースの企画に向けて（プログラムの検討）

各委員からの報告

参加者：山口 一史（委員長）、渥美 公秀、栗田 暢之、菅磨 志保、田中 稔昭、蓮本 浩介、堀江 和巳、村井 雅清、山添 玲子、福田 信章、黒田 裕子（以上委員）、窪田 雅夫、平澤 雄一郎、東井 裕介（以上事務局）、梅谷 二美、高野 尚子、田代 洋久、福田 和昭（以上陪席者）

日 時：平成17年 9 月2日（金）15:00～17:00

内 容：研修カリキュラムの検討、作業スケジュール

参加者：山口 一史（委員長）、渥美 公秀、栗田 暢之、菅磨 志保、田中 稔昭、蓮本 浩介、堀江 和巳、村井 雅清、山添 玲子（以上委員）、大野 淳、窪田 雅夫、平澤 雄一郎、東井 裕介（以上事務局）、梅谷 二美、高野 尚子、田代 洋久、福田 和昭（以上陪席者）

日 時：平成17年11月30日（水）16:00～17:00（研修最終日ののち）

内 容：反省会（平成17年度ボランティアコーディネーターコースについて）

2 企画委員名簿

（平成16年度：50音順、敬称略）

氏 名	所属・役職	摘要
渥美 公秀	日本災害救援ボランティアネットワーク 理事 大阪大学人間科学部 助教授	
黒田 裕子	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 副代表	
栗田 暢之	レスキューストックヤード 常務理事兼事務局長	
馬場 正一	兵庫県社会福祉協議会地域福祉部 副部長	

福田 信章	東京災害ボランティアネットワーク 事務局次長	
堀江 和巳	ちばコープ 危機管理対策室	
村井 雅清	被災地NGO協働センター 代表	
山口 一史	ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事	(委員長)
山添 令子	コープこうべ 生活文化・福祉部 統括部長	

(平成17年度：50音順、敬称略)

氏 名	所属・役職	摘要
渥美 公秀	日本災害救援ボランティアネットワーク理事／ 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター助教授	
黒田 裕子	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 理事長	
栗田 暢之	レスキューストックヤード 代表理事	
菅 磨志保	人と防災未来センター リサーチフェロー 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教員	
田中 稔昭	日本災害救援ボランティアネットワーク 理事長	
蓮本 浩介	ひょうごボランティアプラザ交流支援部 主事	
福田 信章	東京災害ボランティアネットワーク 事務局次長	
堀江 和巳	ちばコープコンプライアンス推進室 危機管理担当	
村井 雅清	被災地NGO協働センター 代表	
山口 一史	ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事	(委員長)
山添 令子	コープこうべ 生活文化・福祉部 統括部長	

3 事務局体制

平成15年度

事業課 村田昌彦（事業課長）、東井裕介（事業課主査）
研究部 菅磨志保（専任研究員）

平成16年度

事業課 村田昌彦（事業課長）、東井裕介（事業課主査）
研究部 菅磨志保（専任研究員）

平成17年度

事業課 平澤雄一郎（事業課長）、東井裕介（事業課主査）
菅磨志保（人と防災未来センターリサーチフェロー／大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任教員）

4 「民間の災害救援活動者に対する人材育成プログラムに関する研究委員会」実施要綱

民間の災害救援活動者に対する人材育成プログラムに関する研究委員会 実施要綱

(趣旨)

第1条 これまでに民間で蓄積されてきた災害救援活動に関する智恵と実践技術を収集・整理すると共に、これらを活かした人材育成プログラムを作成するために民間の災害救援活動者に対する人材育成プログラムに関する研究委員会（以下「研究委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 研究委員会の所轄事務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 災害救援に関わってきた民間団体（公益法人NPO・NGO）や学識経験者等の智恵と実践技術を収集・整理し、今後の実践に役立つ形でまとめること。
- (2) 収集・整理した智恵と実践技術を活かした人材育成プログラムを作成し、人と防災未来センターが主催する研修事業等に積極的に提言していくこと。
- (3) その他、研究委員会で必要と認めたこと。

(組織)

第3条 研究委員会は、別表1（略）に掲げる者をもって組織する。

(委員長)

第4条 研究委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は会務を総理し、研究委員会を代表する。

(事務局)

第5条 研究委員会の事務局は、人と防災未来センターに置く。

(会議)

第6条 研究委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集する。

- 2 委員長が必要と認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(謝金)

第7条 委員が会議その他の研究委員会の職務に従事したときは、謝金を支払う。

- 2 謝金の額は、別表2（略）のとおりとする。

(旅費)

第8条 委員が研究委員会の職務を行うために、会議に出席し、又は調査・旅行したときは、旅費を支給する。

- 2 前項の旅費の額は、職員等の旅費に関する条例（昭和35年兵庫県条例第44号）の規定により支給する額に相当する額とする。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成16年5月27日から施行する。

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

謝 辞

本事業は「ボランティアコーディネーターコース」のプログラムづくりに関わってくださった以下の企画委員の皆様のご協力により、実施することができました。

(50音順、敬称略)

渥美 公秀	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター助教授 日本災害救援ボランティアネットワーク 理事
黒田 裕子	阪神高齢者・障害者支援ネットワーク 理事長
栗田 暢之	レスキューストックヤード 代表理事
菅 磨志保	大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 特任助手 人と防災未来センター リサーチフェロー
田中 稔昭	日本災害救援ボランティアネットワーク 理事長
蓮本 浩介	ひょうごボランタリープラザ 交流支援部 主事
福田 信章	東京災害ボランティアネットワーク 事務局次長
堀江 和巳	ちばコープ コンプライアンス推進室 危機管理担当
村井 雅清	被災地NGO協働センター 代表
山口 一史	ひょうご・まち・くらし研究所 常務理事 (委員長)
山添 令子	コープこうべ 生活文化・福祉部 統括部長

(平成17年 5 月現在)

コースを実施した平成15年度から17年度にかけて、国内では災害が多発し、企画委員の多くが、被災地の支援に忙殺されていました。それにもかかわらず時間をやりくりして本事業のプログラム作成やコースの運営にご協力いただきました。心からお礼申し上げます。

また、減災に関わる実務や研究を志しているNGO・NPOのスタッフや学生の皆様にも、コースのファシリテーターや記録係、実施に伴うさまざまな用途を担っていただきました。改めてお礼申し上げます。

その他にも、多くの方々にご支援・ご協力をいただきました。ここに感謝の気持ちを記し、お礼に代えさせていただきます。

菅 磨志保

(平成14-16年度 専任研究員=ボランティア分野担当)

DRI調査研究レポート 2006-01
DRI Technical Report Series [vol.12]

**ボランティアコーディネーターコースの3年間
平成15～17年度の報告**

The reports of the Volunteer Coordinator Training Course, 2003-2006

発 行

2006年8月

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2
tel (078)262-5060 fax (078)262-5082
<http://www.dri.ne.jp>

印 刷

商工印刷株式会社

〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町4丁目5-7
tel (078)221-1113